



## 子育てって大変。親に感謝。

三和中3年生 妊婦と乳幼児との交流事業  
 神石高原町次世代育成支援行動計画に基づき、三和中3年生の生徒37名が、妊婦・乳幼児との交流事業を行いました。



「命の大切さや性について考える。」というテーマで7月18日(日)、神辺町在住で助産師の西田啓子先生から、子どもを産み育てることの尊さや大変さ、性に関する正しい知識等について学びました。また、妊婦体験、乳児の沐浴、おむつ交換、授乳や抱っこ体験など行いました。

8月19日(木)には、くるみふれあいプラザで、26日(木)には、小島交流会館で、実際に乳幼児とふれあい、地域のお母さん達に子育てに関するインタビューなどを行うことができました。

交流事業を通じて生徒らは、命の大切さ、子どもを産み育てることの大変さ、すばらしさを充分に感じる事ができたようです。

### 生徒の感想

「妊娠から育児まで体験してみて、こんなに大変とは思いませんでした。育ててくれたお母さん達に感謝でいっぱいです。これからは家族にももう少し優しくできると思います。」  
 「私はまだ、赤ちゃんを産めないけれど、もしその時がきたら、赤ちゃんをいつも大切に育て、テレビとかで聞く「虐待」も絶対にしません。」  
 「普段、小さな子達と接する事が全然ないので、とても大変でした。でも、地域のお母さん達に優しく教えてくださったので、すごく勉強になりました。子ども達とたくさん遊んで仲良くなれて、すごく楽しかったです。」

### おひさま広場 カンガルークラブに参加された

「子どもが普段触れ合つことのない年頃のお兄さん・お姉さんとの時間をとても喜んでいました。」  
 「中学生が盛り上げてくれて、とても楽しい1日でした。こんな機会があればまた来たいです。」  
 「中学生が汗をかきながら抱っこしてくる姿を見て、とても微笑ましかったです。」

## 広島県いきいき地域づくり賞受賞

県内で自主的な地域づくり活動により、地域振興・活性化に貢献している団体を対象とした県知事表彰制度「広島県いきいき地域づくり賞」の表彰式が8月20日に広島県庁であり、有木自治振興会田舎応援団「あろぎ倶楽部」が選ばれました。

あろぎ倶楽部の活動は、都市部住民と地域との協働で都市部住民に農作業体験等、自然とのふれあいの場を提供することにより、遊休農地の維持管理や都市農村交流につなげ、まちづくりに寄与したとして表彰されました。



## 神石高原町消防大会開催!!

神石高原町消防大会が8月22日、三和中学校グラウンドで開催されました。今大会は、厳しい暑さのもと多数の来賓が見守るなか、日頃の訓練成果を披露しました。



大会は9分団対抗による「ポンプ車線法競技(実放水)」を行い、規律・動作・機械器具の精通及び放水で標的を倒すまでの所要時間を競い、的が倒れるたびに会場からは大きな歓声が沸きあがりました。団員たちは、連日連夜の訓練成果を十分に発揮し、すばらしい大会となりました。大会結果は次のとおりです。

審査結果

区分	氏名又は分団名(敬称略)
団体の部	豊松方面隊第1分団
個人の部	指揮者 豊松方面隊第1分団 山村 博樹
	1番員 油木方面隊第2分団 小林 大介
	2番員 神石方面隊第2分団 三原 成雄
	3番員 油木方面隊第2分団 安達 孝昌
	4番員 豊松方面隊第1分団 平川 研士



## 宝くじ助成事業で音響設備を導入

牧自治振興会(会長秋山軍次)が宝くじのコミュニケーション助成事業を活用して念願の音響設備を導入されました。8月14日に開催された地域の夏祭り「納涼の夕べ」で披露され、帰省客でにぎわう会場は「神石踊娘隊きらきら星」の出演もあり大いに盛り上がりました。

自治宝くじ助成事業は、コミュニケーションの健全な発展と宝くじ事業の普及宣伝を目的として、(財)自治総合センターから地域の団体へ助成が行われています。

## はじめましてジェフリー先生

町内の小中学校のALT(外国語指導助手)として、8月からジェフリー先生が来られました。ルック先生ともどもよろしくお願ひします。



ジェフリー先生(左)とルック先生(右)

**ルック先生** 三和小中学校 高蓋小学校、神石小中学校担当  
 みなさんこんにちは。神石高原町での勤務は3年目です。この町での仕事も生活も大好きで、たくさんの方の日本語を習得して楽しんでいます。新しい料理に挑戦したいので、いつでもレシピを教えてください。興味はサイクリングと旅行で、もうすぐ中国とベトナムへ行く予定です。

**ジェフリー先生** 油木小中学校 豊松小中学校 赤見小学校 二幸小学校担当  
 はじめまして。妻のチャリーと一緒にニュージールランドから来ました。趣味は、ホッケー・卓球・ゴルフ・読書・映画鑑賞です。神石高原町は美しい町ですね。この町で生活できることにとても幸せを感じています。どうぞよろしくお願ひします。

## 町立病院からのお知らせ

### 地域医療シンポジウム2010を開催

8月24日(火)、三和の森R&Cで「地域とともに歩む医療」と題したシンポジウムを神石高原町と町立病院指定管理者(社会医療法人社団陽正会)の主催により開催し、近隣の医療機関、行政関係者や広大、岡大の医学部関係者を含め240名余の参加を頂きました。



鈴木クリニックの鈴木強院長を座長に、元県立神石三和病院長で現広島大学教授の竹内啓祐先生から地域医療の現状や医師不足の話をもとに、本音で医療を語る町、医療を育てる町などの提案やアメリカのダートマス医大の地域医療・家庭医学講座教員デニス・マカロー先生から「スローメディシン」という人生の晩年の質向上を追求する中で、高齢者とその家族を支援しケアする伝統と最適医療の融合についての講演がありました。

また、町立病院の原田院長や服部内科部長、上山副町長などから、地域医療の実践状況や町民にふさしい病院をめざすことの発言もあり、フロアからも発言があるなど夜遅くまで熱心な意見交換がされました。高齢者医療や急性期医療、先進医療を総合的・一体的に捉え、今後も地域医療を進めていく必要を確認しました。



鈴木強 院長



竹内啓祐 教授